



<報道資料>

2013年11月28日

Kindle Fire HD ニューモデル、Kindle Fire HDX の Fire OS 3.1 のアップデートを開始

～社内ネットワーク Wi-Fi、VPN 対応、イントラネット閲覧ができるケルベロス認証、モバイルデバイス管理 (MDM) ソリューションを含む法人ユース向けの新機能が新たに追加～

～最新の Fire OS 3.1 では、クラウドコレクション、Wi-Fi 対応プリンターの利用、その他複数の新機能が追加され、Kindle Fire シリーズがより快適に利用可能に～

Amazon.co.jp(以下 Amazon)は、本日 11 月 28 日に、最新の Fire OS 3.1 を発表いたしました。これに伴い、本日より Kindle Fire HD(ニューモデル)、Kindle Fire HDX に Fire OS 3.1 が無料で随時配信されます。また、本日より専用ページ(www.amazon.co.jp/kindlesoftwareupdates)でも、最新 OS のダウンロード、及びインストールを行うことが可能です。

「今回の Fire OS 3.1 のアップデートで、クラウドコレクション、法人向けサポート、Wi-Fi 対応プリンターの利用などの新機能をご利用いただけるようになりました。法人およびプライベートユースでもより快適に Kindle Fire をご利用いただけるようになり、大変嬉しく思います。」とアマゾン ジャパン代表取締役社長のジャスパー・チャンは述べています。

法人向け BYOD(Bring Your Own Device: 個人端末の会社への持ち込み)サポートについて:
Fire OS 3.1 で以下の機能が法人向けに可能になりました。

- WPA2 サポート付き Wi-Fi ネットワークで、法人向けアプリ、ドキュメント、SharePoint 等のリソースへのアクセスが可能に。
- メールアカウントの設定、件名単位でのスレッドグループ内会話、連絡先の同期もさらに簡単に。
- Kindle Fire から Wi-Fi 対応プリンターへのドキュメント、メールの直接印刷が可能に。
- ドキュメント、スプレッドシート、プレゼン資料が読める内蔵 OfficeSuite を標準搭載。
- VPN クライアントで、どこからでも社内ネットワークにアクセスが可能。
- ケルベロス認証に対応した Silk ブラウザがシングルサインオンをサポート。会社のイントラネットにも安全にアクセスすることが可能。
- 社内データに安全にアクセスするために、シンプル・サーティフィケート・エンロールメント・プロトコル(SCEP)を使用し、デジタル証明書に対応。
- Kindle 向けデバイス管理 API により既存のモバイルデバイス管理(MDM)システムと連携が可能となり、社内 IT 担当者により簡単に Kindle Fire を管理していただくことができるようになりました。Kindle Fire はアイキューブDシステムズ、AirWatch、Citrix、Fiberlink、Good Technology、SOTI などのベンダー様が提供する幅広いモバイルデバイス管理 (MDM) ソリューションをサポートしています。

Kindle Fire シリーズ向けのモバイルデバイス管理 (MDM) システムにより、アドミニストレーターは以下の項目を実現していただけます。

- デバイスコントロールによる容易な登録作業、サイレントアップデート機能、登録漏れ防止。
- アプリケーション管理機能による、アプリケーションのサイレントインストール、アップデート、アンインストールおよびアプリケーション使用ポリシーの管理。
- Wi-Fi、VPN および認証情報のサイレント設定とネットワーク構成。
- 暗号化、認証、パスワード確認などのデバイスセキュリティ。

加えて、GoToMeeting、Evernote、Cisco AnyConnect、Documents To Go などの法人向けの生産性アプリは Amazon Android アプリストアで入手できます。

法人向けの新機能の詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.amazon.co.jp/gp/feature.html?docId=3077737626>



最新の Fire OS 3.1 の主な新機能は以下の通りです。

- クラウドコレクションを使って、好きなコレクションを作って、本やアプリを整理できます。Amazon の Whispersync 機能により、他の Kindle 端末で作ったコレクションと読書アプリを同期でき、全てのデバイスで共有できます。
- Kindle Fire で最近使用されていないアイテムが占めるストレージ領域を開放し、後で取り出せるように、クラウドにそれらをワンクリックで保存するインスタントクラウド。
- 写真、PDF、Eメール、連絡先、カレンダー、ドキュメントを Wi-Fi 対応プリンターで印刷可能。
- 処理能力の向上、消費電力の効率化など。

最新の Fire OS 3.1 は、Kindle Fire HD (ニューモデル)、Kindle Fire HDX の 7 インチと 8.9 インチを含む、新しい Kindle Fire シリーズにインストールできます。詳しくは www.amazon.co.jp/kindlefirehdx まで。

<Amazon.co.jp について www.amazon.co.jp>

2000 年 11 月 1 日に営業を開始した Amazon.co.jp は、お客様がオンラインで求めるあらゆるものを検索、発見できる、世界で最も顧客重視のストアであることを目指します。現在 Amazon.co.jp は、5,000 万種類を超える和書、洋書、CD、DVD、ソフトウェア、ゲーム、家電&カメラ、ホーム&キッチン、おもちゃ&ホビー、スポーツ&アウトドア、ヘルス&ビューティー、コスメ、時計、ベビー&マタニティ、アパレル&ファッション雑貨、食品&飲料、ジュエリー、文房具・オフィス関連商品、DIY・工具、カー&バイク用品、楽器、ペット用品を取り扱っており、お客様はパソコン・携帯電話・スマートフォンを利用して、さらにはバーコード読み取り検索やフォト検索の機能などを備えた Amazon モバイルアプリを利用したのショッピングをお楽しみいただけます。

Amazon.co.jp は、業界最先端のオンラインショッピング・テクノロジーにより、信頼のおけるクレジットカード決済、代金引換による支払い、コンビニ・ATM・ネットバンキング・Edy 払い(先払い)、おすすめ商品機能、そして便利な 1-Click オーダーなどのサービスをお客様に提供します。Amazon.co.jp では、Amazon.co.jp が販売・発送する商品の無料配送サービスをはじめ、当日お急ぎ便、お急ぎ便、お届け日時指定便、定期おトク便など、お客様のご要望にお応えし、様々な配送サービスを提供しています。

Kindle は世界で最も人気の電子書籍リーダーシリーズで、Kindle Paperwhite は最も先進的な電子書籍リーダーです。

Kindle Paperwhite は、コントラストがより美しくなった新しいディスプレイ技術、次世代のフロントライト、一段と早くなったプロセッサに加えて最先端のタッチスクリーン技術、そして読者のことを徹底的に考えて作られた独自機能を備えています。最小・最軽量の Kindle は、筑紫明朝を新たに追加し、より早いページ送りを実現しました。

新しい Kindle Fire HDX は、息を飲むほど美しい 7 インチと 8.9 インチの HDX ディスプレイ、2.2GHz クアッドコアプロセッサ、2 倍に増えたメモリ、最長 11 時間持続の長時間バッテリー、Fire OS 3.0 の独自の機能を搭載。新しい Kindle Fire HD は、HD ディスプレイ、高性能プロセッサ、デュアルスピーカーをお手頃価格でお求めいただけます。

Amazon.co.jp は、米国ワシントン州シアトルを本拠地とする Fortune 500 企業である Amazon.com, Inc. (NASDAQ: AMZN) の関連会社が運営する国際的なサイトの 1 つです。Amazon.com, Inc. と関連会社は、www.amazon.com、www.amazon.co.uk、www.amazon.de、www.amazon.co.jp、www.amazon.fr、www.amazon.ca、www.amazon.cn、www.amazon.it、www.amazon.es、www.amazon.com.br、www.amazon.in、www.amazon.com.mx 等のウェブサイトを経営しています。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

本リリースは、米国 1933 年証券法第 27 条 A および米国 1934 年証券取引法第 21 条 E に規定される意味においての「将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)」に該当する記述が含まれています。実際の業績は経営予想と大きく異なる可能性があります。これら将来予想に関する記述は様々なリスクおよび不確定要因により実績と異なる可能性があり、それらリスクおよび不確定要因には、競争、成長の管理、新たな商品、サービスおよび技術、営業結果の変動可能性、国際的拡大、訴訟および申し立ての結果、フルフィルメントセンターおよびデータセンターの最適化、季節的要因、取引契約、買収および戦略的提携、外国為替相場、システム中断、在庫、政府規制と課税、支払いならびに不正行為などが含まれます。その他 Amazon.com の業績に影響する可能性のある事項については、最新の Form 10-K のアニュアルレポートなど、同社が米国証券取引委員会 (SEC) に提出している文書にも記述されています。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾン ジャパン株式会社 プレス対応 Tel: 03-6367-4117 プレス対応 E-mail: press@amazon.co.jp

株式会社ブラップジャパン Tel: 03-4580-9103 E-mail: pr-amazon@ml.prap.co.jp